

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0572108041
法人名	社会福祉法人 阿仁ふくし会
事業所名	グループホーム桂寿あに
所在地	北秋田市阿仁水無字宮後4番地 (電話) 0186-82-9007
評価機関名	財団法人 秋田県長寿社会振興財団
所在地	秋田市御所野字下堤5丁目1-1
訪問調査日	平成21年8月19日

【情報提供票より】 (21年 7月 28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	7 人 常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋 造り 1階建ての ~ 1階部分
------	---------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有 (円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		900 円	

(4) 利用者の概要 (7月 28日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	名
要介護1	1 名	要介護2		1 名	
要介護3	6 名	要介護4		1 名	
要介護5	0 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 88 歳	最低	78 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北秋田市阿仁病院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家風の建物の中には、天井が高く、食堂と居間には丸太の柱があり、開放的な雰囲気になっている。各居室には洗面台があり、利用者にとって利便が良くなるよう配慮されている。遠方に住む家族が面会に訪れた際には、一緒に居室に宿泊して家族水入らずの時間を過ごしている。以前は、法人全体でまとめて食材を購入していたが、利用者が満足するような食事を提供したいという管理者の強い要望で、現在は、利用者と職員と一緒に買物として献立を考えている。利用者は、季節の旬の食材や地元の食材を食べることで食欲が増している。職員は利用者の生活のペースに合わせてゆったりと暮らしているよう支援している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	本人や家族が積極的に希望や意見を出さない場合でも、職員は本人の立場に立って、その人らしい生活が出来るように介護計画を作成するように努めている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者を中心に、職員が自己評価に参加して、自分たちのチームケアの内容を点検して、更に利用者が自分らしく生き生きと心地よい生活が送れるように努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回の運営推進会議では、家族の代表や民生児童委員、老人クラブの会長等に出席してもらい、日常生活の報告やその時々課題について討議している。グループホームの外部評価の内容も報告され、ケアの向上に取り組んでいる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	面会の際は、職員がいつも家族に意見、苦情がないか伺っており、運営を改善するように務めている。苦情があった場合は、運営者、管理者、職員がその対応について話し合いをして、改善に向けて取り組むようにしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地域の婦人会のボランティアを受け入れて、利用者との会話を楽しんで貰っている。市日の日には、利用者と職員が買物に出掛けて、地域住民と交流している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「わたしたちは地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される施設をめざします」という理念の下、その実現に努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送りや会議の際には、職員全員で理念を共有して、その実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に参加したり、市の日には買物に行って、地域の人との会話を楽しみ交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が評価の意義を理解して、以前改善課題として挙げられた点について、積極的に改善しようと努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回の運営推進会議を実施して、民生児童委員や老人クラブの方にも参加して頂き、その意見を、事業所の運営に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の支所の担当職員を中心に交流するように努めている。今後更に連携を強化する取り組みを模索中である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月初めに、利用者の暮らしぶりや健康状態の他、金銭出納状況を報告している。又適宜、電話で連絡を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の度に、管理者や職員が事業所に対する意見を伺っている他、運営推進会議に出席してもらい、家族の意見を運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動があっても、利用者に支障がないように前任者との引き継ぎを十分行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体で、研修計画を作成している。研修の案内は職員に回覧して、希望する研修に職員が参加、受講できるようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入して同業者との交流に努めている。管理者の研修会に参加する等、相互に情報交換をしてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	サービスを利用する前から、本人や家族と相談して、安心して自分の納得するサービスを利用出来るようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者を人生の大先輩として、得意なことを学んだり、昔の話を聞かせてもらって、共に生活する中で、支え合うような関わりをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が利用者一人ひとりの思いに関心を持ち、理解しようと努めている。本人の思いや意向が理解する事が困難な場合でも、本人の立場に立って支援するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を作成する前には、本人、家族と職員と一緒に、話し合いをして本人の希望に沿った、その人らしい介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しを実施するとともに、変化が生じた場合は、その都度見直しをしている。介護計画の評価では、短期目標等の評価はとても良く行われているが、新たな意向や要望が積極的に引き出されておらず、総合支援内容の検討が不十分である。	○	現状の把握は細かく行っているが、大きな変化がないような場合でも、本人や家族の今の意向や現状を把握して、新たな意向が引き出せるような取り組みを期待する。評価時には、全体的な総括を実施する事が望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の体調に変化が生じた場合は家族と相談して、事業所として出来る範囲で支援している。家族が望む時は主治医と連携してターミナルケアを実施している。隣接する施設の行事に参加して、利用者同士が交流したり、同じ法人の運動機材等を活用して利用者のケアに役立てている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する医療機関を利用できるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族、主治医等と相談して、家族が納得する上でターミナルケアを実施している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りを尊重して、プライバシーに配慮するようにしている。また、個人情報についてはきちんと保管・管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のリズムに合わせて、毎日の暮らしを支援している。その人の好きな事を優先している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1週間の献立を作成する際は、利用者の嗜好調査を行い、食事を楽しむ事が出来るように工夫している。又、利用者と職員と一緒に食事の準備をして同じテーブルに座って食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	入浴の予定表を作成しているが、本人の希望があれば、適宜入浴出来るようにしている。また、利用者の好みの入浴剤を利用する等工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の習慣や希望を踏まえて一人ひとりの役割や楽しみ等を作り出せるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い時には、日光浴を兼ねてホーム周辺の散策など、出来る限り外出するようにしている。職員と一緒に、買物に出掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	日中は玄関を開放して、自由に出入り出来るようになっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2ヶ月に一度、自主的に避難訓練を実施している。火事や水害、地震等の災害の種類に応じて、訓練を行っている。近隣住民には災害時の協力をお願いしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表には、摂取量を記入して極端に食事量が少ない場合は代替の食品を良いようにしている。水分については、食事の時、10時、15時と希望時に適宜飲用するようにしている。一人ひとりの状態や習慣に応じて、支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室、トイレ、居間等には季節を感じる花を飾っている。廊下には、自分で作成した暦を貼っている。利用者にとって居心地のよい空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族が希望するものを持ち込んで、落ち着いて過ごせるように工夫している。		

※ は、重点項目。